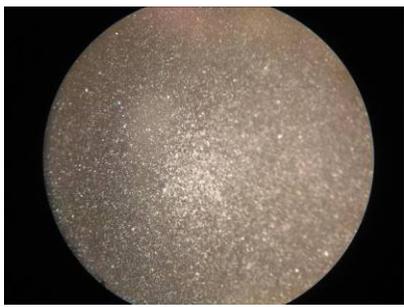
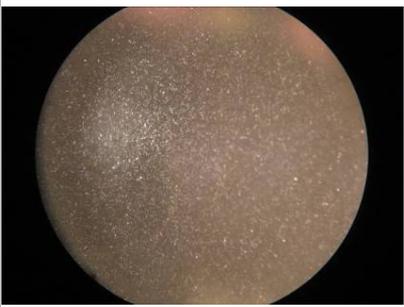
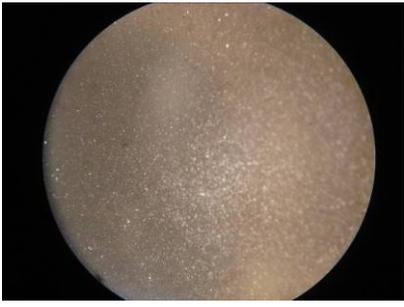
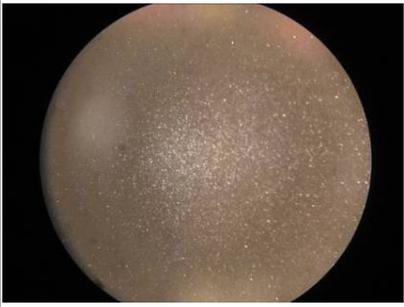
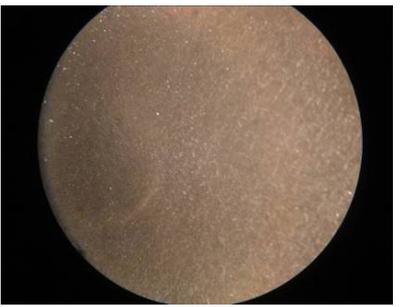


イブプロフェン+パーフィラー101 高打圧打錠試験

目的	EIP 杵による滑沢剤を含有しない錠剤の製作を検討する。
使用薬剤	イブプロフェン-50%、パーフィラー-101-50% パーフィラー-101 内訳 ヒドロキシプロピルスターチ 約60% 合成ケイ酸アルミニウム 約20% 結晶セルロース 約20%
使用杵	鏡面+HCr・鏡面+CrN・EIP 以上3種類の上下の杵
錠剤硬度	50~60N
打圧	本圧上ロール:710kgf 本圧下ロール:680kgf 予圧上ロール:20kgf 予圧下ロール:50kgf 押上圧力:7kgf
試験方法	①表面処理の異なる杵を、タブレットマシンを使用して高打圧にて打錠する。 ②打錠時間を均一に設定して打錠する。 ③打錠後、顕微鏡にて杵打錠面を観察する。
打錠時間	30rpm で1時間程度行った。

杵、打錠試験後の写真

		
鏡面+HCr 下杵 30rpm で1時間打錠	鏡面+CrN 下杵 30rpm で1時間	EIP 下杵 30rpm で1時間
		
鏡面+HCr 上杵 30rpm で1時間打錠	鏡面+CrN 上杵 30rpm で1時間	EIP 上杵 30rpm で1時間

結 果

- ◆ 鏡面+HCr
下杵には、中心部に膜状の付着が発生した。
上杵には、中心部に薄い曇りが発生した。
- ◆ 鏡面+CrN
下杵には、中心部の外側に薄い曇りが発生した。
上杵には、中心部に薄い曇りが発生した。
- ◆ EIP
下杵には、中心部に、わずかに薄い曇りが発生した。鏡面+CrNと比較すると、曇りの大きさが小さい

上杵には、付着が発生しなかった。

以上の結果から、EIP 杵でステアリン酸マグネシウムを含有しない、イブプロフェン+パーファイラー101 の粉体を高打圧で打錠できることが判明した